

第 11 回中部 MISt 研究会 Hands-on Seminar 開催報告

会期：2019年2月16日（土） 14：00～16：00

会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち7階 702号室

共催：中部 MISt 研究会

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 デピューシンセス スパイン事業部

帝人ナカシマメディカル株式会社

日本ストライカー株式会社

ニューベイシブ株式会社

メドトロニックソファモアダネック株式会社

【プログラム】

14：00 開催挨拶

14：05～14：50 ミニレクチャー

1. MISt の基本、ハンズオン概要について

名古屋市立大学病院 水谷 潤先生

2. 腰椎変性側弯における LIF 併用 PPS 固定術の基本レクチャー

富山大学附属病院 関 庄二先生

3. 看護師（手術部）エキスパートからのレクチャー

はちや整形外科病院 看護師 丹羽 雄二

14：50～15：50 ハンズオンセミナー

(Faculty)

佐藤 公治先生

水谷 潤先生

中嶋 秀明先生

関 庄二先生

明田 浩司先生

鵜飼 淳一先生（順不同）

15：50 修了者授与・閉会挨拶

今回のハンズオンセミナーは、総勢 34 名と非常に多くの方に参加頂き、また、メーカー 5 社の協力も得ることが出来、大盛況の内に無事に終了いたしました。

どのテーブルも学ぼうとする参加者の意欲に溢れ、会場内は活気や熱気に満ちておりました。

ある参加者からは、

「XLIFでの執刀前の皮切部位の位置決定の方法や、レトラクターを固定するまでの神経の位置関係を確認する重要性を学ぶことが出来た。ハンズオンでは2人ペアで術者、直接介助者となり器械に実際に触れ、普段看護師側から見えにくい術野の様子や器械の使用目的が理解でき、とてもわかりやすかった。グループ人数も少なく全員が術者または直接介助者を体験でき、質疑応答の時間もあつたので1つのハンズオンの時間としてはちょうど良い時間割であつたと思う。全体セミナーの時間はやや短い印象であつた。もう少しセミナーの時間があれば(30~60分)、あと1つくらいの別の手技(器械)も学習したかった。」

【XLIFニューベイスブ 中嶋先生のハンズオン参加者】

と貴重な意見も頂きました。

やはり実際に手術で使用する器械を用いて実体験してもらうことの重要性の再認識し、そしてこれから更により良いセミナーを開催出来るようにするための課題も残されていると感じた次第です。

今回セミナーを開催するにあたり、御多忙中のところ御協力頂いた講師の先生方をはじめとして、メーカー各社、研究会開催スタッフなど多くの方々に深く感謝致します。



文責：名古屋第二赤十字病院 整形外科 鶴飼淳一